

平成21年度 特別会計決算を認定

各会計を合計した歳入及び歳出決算額を前年度と比較すると、歳入決算額で5.2%増加、歳出決算額で4.1%増加している。

無印は全員賛成（※は賛成多数）

会計区分	採択	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	※	14億4,876万円	13億7,257万円
後期高齢者医療		8,474万円	8,474万円
老人保健		476万円	476万円
介護保険	※	6億9,241万円	6億7,559万円
住宅新築資金等貸付	※	3,514万円	3,514万円
公共下水道事業		3億7,075万円	3億7,075万円
農業集落排水事業		8億5,086万円	8億5,086万円
学校給食事業		1億3,687万円	1億3,666万円
上水道事業		2億8,937万円	3億7,880万円
合 計		39億1,366万円	39億987万円

一般会計55億6,336万円、特別会計（水道事業含む）39億987万円となり、平成21年度行政事業は約95億円が流動している。

質疑

■ 介護保険特別会計 質問 介護施設への入所に
関して村内の待機者は何人
か。

健康・保険課長 平成22年
5月1日現在で45名。ちな
みにしんとう苑へ入所希望
待機者は32名となっている。
1人で10ヶ所に入所希望を
表明しているが45名はあく
まで実人数である。

■ 住宅新築資金等貸付特別会計 質問 検討委員が発足した
が、どんな役割を果たした
か。

住民生活課長 貸付回収検
討委員会が7月に発足し、
5回の会合を持ち、平成22
年1月27日に提言を受けた。
その提言に基づき当事者へ
十分聞き取りを行う等検証
している。

■ 学校給食事業特別会計 質問 民間委託のデメリッ
トとして、栄養士から調理
員への指示が直接できない
ことが懸念されていたが、

健全化判断比率及び資金不足比率報告書

1 健全化判断比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
－％ (15.0)	－％ (20.0)	5.5％ (25.0)	－％ (350.0)

備考 1 実質赤字額及び連結実質赤字額はないため、将来負担比率は算定されないため、「－」と記載している。
2 括弧内は本村における早期健全化基準である。

2 資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率
上水道事業会計	－％
公共下水道事業特別会計	－％
農業集落排水事業特別会計	－％

備考 1 資金不足比率は算定されないため、「－」と記載している。
2 各公営企業における経営健全化基準は「20.0%」である。

現場で支障はないか。
教育委員会事務局長 栄養
士からの調理室等での指示
は、当然民間業者（調理を委
託された）の責任者に指示
している。人員体制も前の
村営の時と比べて職員も増
えており突発的に職員が休
んだときも何の支障もなく
スムーズに運営されている。